

社会を変革し 未来を切り開いていく女性の育成

学祖下田歌子は「女性が社会を変える、世界を変える」という強い信念のもと「品格高雅にして、自立自営しうる女性の育成」を目指して本学を設立し、

昨年創立120周年を迎えました。この建学の精神と教育理念

を継承し更に発展させるために、「社会を変革し未来を切り開いていく女性の育成を目指す」という学長方針を出し、教育と学生支援体制の充実を図るために、入学前から卒業後まで一人ひとりの個性を大切にされた個別支援

体制JITAS(ジェイタス)をスタートしました。

**AIに代替できない能力
論理的思考を育むための
教育を充実**

日本は、少子高齢化に伴い少しづつ地盤沈下をしています。課題を乗り越え明るい未来を切り開くためには、女性の新たな視点と切り口が必要です。そのためには女性が社会を変える気概を持つことが必要です。

また、世の中で必要とされる



城島 栄一郎 学長

じょうじま・えいいちろう／1972年東京工業大学工学部卒業。1979年東京工業大学大学院 博士課程単位取得退学。同年工学博士。1979年より実践女子大学家政学部専任講師。1993年より実践女子大学生活科学部教授。学科主任、情報センター長、生涯学習センター長、生活科学部長を歴任。2017年より学長。

能力は変わってきており、自分で社会の問題点を見つけ目標を設定し、価値判断ができる、想像力がある、対人コミュニケーション力があるなど、AIで代替できない能力を育成することが求められています。そこで、教育面では、従来からの知識伝達の教育に加え、論理的思考の基礎となる、基礎学力の向上と広範囲な分野での教養及び数理的思考力を養う教育を充実していきます。

グローバル化への対応としては、外国語教育の充実はもちろんですが、日本文化や歴史の理解を深めていくことが大切です。本学は、学祖が源氏物語の研究者であったことから、文部科学省平成30年度私立大学研究ブランドディング事業として、「源氏物語研究の学際的・国際的拠点形成」が採択されました。

オンラインと

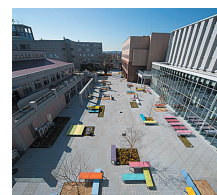
**対面授業を組み合わせた
未来型教育システムを構築**

私のこれまでの経験から、「世の中で力を発揮していくためには、広く深い知識をベースにして、課題を自分の頭で組み立て判断していくことが必要であり、そのために『チャレンジ』と『トライ&エラー』が大切」と学生や教職員に伝えていきます。

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大により、新学期はオンライン授業で始まりましたが、教職員一丸となって取り組んだ結果、現在実験などを除き85%がオンデマンドやリアルタイムの授業をオンラインで実施できています。今回の経験で培われたノウハウを活用し、ICT、AI化が進む現代社会にふさわしい未来型の教育システムを構築し、教育の質のワンランクアップを目指したいと思っています。



流行の発信地で洗練された街にある渋谷キャンパスは、渋谷駅東口C1出口から徒歩約10分の都会の躍動を感じられるキャンパス。



実践女子大学 様々な実践経験の場と成長を実感する システムで、社会で輝く女性を育成



学長 城島栄一郎

東京工業大学工学部卒業。同大学大学院博士課程単位取得退学。工学博士。1979年より実践女子大学専任講師、2017年より学長。

本学では、建学以来一貫して「実践力」の育成に邁進してきました。そして、変化が加速する社会を生き抜くために、ディプロマ・ポリシーで2つの態度（国際的視野・美の探究）と3つの能力（協働力・行動力・研鑽力）を保証し、学生がこれらをバランス良く身につけられるように、科目ごとにとの能力を伸ばせるかが分かるカリキュラムマトリクスを設定しました。また、卒業後のキャリアを一年次から長期的に考えられるように、全学年共通のキャリア教育科目群を設定。一人ひとりの適性を探りながら進路について共に考えるキャリアサポートや、社会に触れる多様な経験の機会を設けて、学生が一歩前に踏み出す力を伸ばします。

「自信」と「成長実感」を高める 個別支援体制「J-TAS」を導入

本学で学ぶ全ての学生が、確かな自信を持って未来を切り拓く力を身につけられるように、学生支援改革にも取り組みました。それが、全学的な個別支援体制J-TASです。入学前から卒業後まで、一人ひとりの活動歴を集約し情報化して管理するシステムを構築。さらに教務の一部・入試・学生生活・キャリアセンターを統合した学生総合支援センターを設置して、学生のことをよく知る職員が、在学中の学びから就職支援に至るまで一貫してサポートできる体制を整えました。また、成長を促すために企業や地域と連携し、フィールドワークやグループワークを通して、課題解決力を育てる機会を数多く設け、社会で活躍するための基礎を養っています。

例えば、日本相撲協会とのコラボ



J-TASは、学生の成長を促す実践の場を数多く設けている。写真は日本相撲協会と連携して行った掃き清めの様子。

企画では、相撲協会と包括的連携協定を締結し、親方衆と共に公式グッズを開発。国技館で販売して新たな相撲ファン作りに貢献しています。

定期的に成長を確かめる機会を 設けて、アクティブ総量を最大化

こうした実践を確実に成長につなげていくには、振り返りとフィードバックが欠かせません。そこで、自分の成長を客観的に確認するために、学修レポートというツールで半期ごとに学修成果を振りかえりレポートフォーリオに反映。また、強みや弱みを客観的に把握するために、成長診断テストを定期的に受けて自分の今を確認します。教職員は、それらのデータを確認しながら定期的にフィードバックをしています。こうした取り組みが評価され、「価値ある大学2021年版 就職力ランキング 小規模大学版ランキング」(日経HR)において全国女子大学で1位(全国総合では4位)にランクインしました。

2020年3月卒

●就職率 **97.2%**
(就職者1,008名/就職希望者1,037名)

主な就職先企業

資生堂ジャパン / ソフトバンク / 住友電気工業 / 警視庁 / 日本航空 / 星野リゾート / ボニーキャニオン / NTT東日本 / 東京都庁 / 長野県庁 / 国分グループ本社 / 山崎製パン / 野村證券 / ユナイテッドアローズ / みずほフィナンシャルグループ / 東日本旅客鉄道 / 三越伊勢丹 / マクロミル / 古河電気工業 / 大成建設 / 三井住友海上火災保険 / ジョンソン・エンド・ジョンソン / 住友化学 他



学生総合支援センター
部長
田中三恵子 氏

MESSAGE

低学年向けの
チャレンジプログラムと
個別支援プログラム始動

低学年向け就職支援を強化すべく、2019年度は、協定を締結している渋谷区内の企業と連携して「Jミッション」を開催しました。企業からの課題について学生だけで構成されたチームで約1ヶ月間ディスカッションを行い、最終的に企業担当者の前で発表を行うという課題解決型の取り組みです。また、学生の意欲を喚起し、さらなるチャレンジを後押しするプログラムも始動しました。その一つが大手企業を志向する学生を対象としたチャレンジプログラムです。また、未来志向の意欲ある学生を育てるために、J-TASと連動した個別支援プログラム「JUSSEN」も開始するなど、「実践を実践」するステップが整いつつあります。今後は、学内データベースの情報を分析し、学生の成長モデルを構築することで、教育やキャリア支援に還元していきます。

OPEN CAMPUS

【日野キャンパス】

9月20日(日) 10:00~15:30

【渋谷キャンパス】

10月25日(日) 10:00~15:30

2021年

3月28日(日) 10:00~15:30

開催日時・内容は変更する可能性があります。必ず最新情報をWebサイトで確認ください。

